

2022年12月26日

株式会社チェンジ

(コード番号：3962 東証プライム)

デジタルグロースアカデミア、住友金属鉱山株式会社のデジタルリテラシー向上プログラムを開発

当社の子会社である株式会社デジタルグロースアカデミア（本社：東京都港区、代表取締役社長：高橋 範光、以下「デジタルグロースアカデミア」）は、非鉄金属業界におけるリーディングカンパニーである住友金属鉱山株式会社の社内研修向けのデジタルリテラシー向上プログラムを開発し、同社に提供することになりましたのでお知らせいたします。

このたびデジタルグロースアカデミアは、住友金属鉱山株式会社より委託を受け、同社の従業員を対象とするデジタルリテラシー向上プログラムを開発、実施いたします。住友金属鉱山株式会社のデジタルトランスフォーメーションを推進する DX 推進部が運営主体となり、動画コンテンツやワークショップを同社従業員に提供開始いたします。

デジタル/データによる課題解決の事例

ニッケル工場での予知保全業務デジタル化

- 保全担当者はタブレットやスマートフォン端末を携帯し、点検データを現地で端末に入力
- 主要電源機の振動異常傾向を監視するため振動計を設置、Wi-Fiでデータを常時転送
- データを解析し予知保全に活用。突発的なトラブルの防止に役立っている

▶ タブレットへ入力による紙からの転記作業の省力化
振動計によるデータ取得の自動化

▶ 蓄積されたデータにより、ベテランも経験が浅い人でも同等に必要な判断や意思決定が行える

◆ SUITOHOKU METAL MINING

デジタルに関わる管理職の心得

- デジタルトランスフォーメーションにおいて管理職の持つべき心得は3つです。

先送りにしない

- 忙しさを理由にしたデジタルの先送りは、より忙しさを増やせなくなり得る
- 早期の活用が大きな成果を生む。活用を先送りにしないこと

デジタルの活かし方を理解する

- デジタルの作り方・使い方よりも大事なものは“活かし方”
- これまでの経験に固執せず、新たなやり方を模索する

データでファクトを捉える

- 社会や顧客/社内のニーズ、業務課題を勘や経験だけでなく、データによりファクトを捉える
- データを新たな価値に結びつける視点を持つ

◆ SUITOHOKU METAL MINING

▲動画コンテンツの一部

デジタルグロースアカデミアはデジタル人材育成事業の一環として、顧客企業の経営課題や業界・企業の特性に沿った独自プログラムの企画開発を手掛けています。企業の DX には一部の専門職だけでなく、管理職や多くの関係者に対するデジタル人材育成が不可欠であり、DX によって解決したい課題によって必要な教育内容は異なります。業界や企業に特化した、様々な対象者への効果的なデジタル人材育成という考えに、住友金属鉱山の方向性が合致し、今回のプログラム開発、実施に至りました。

開発したプログラムは、初期は動画での4講座を中心として、「DXに取り組むべき背景」「住友金属鉱山としてのDXへの考え方」「DXに取り組む姿勢」「管理職としてのDXへの関り方」といった要素を含みます。学習効果を高めることを狙い、ワークショップを交えたブレンド型学習（eLearningによるインプットと、ワークシ

ョップによるアウトプットの混合型学習)として実施いたします。初期プログラムにて、対象者のDXに対する意識変革や取り組み姿勢の醸成を狙い、今後はデジタル技術に関する知識やスキルといった要素の育成を全従業員へと展開していく事を予定しております。

デジタルグロースアカデミア 代表取締役社長 高橋範光のコメント

「長年の実績や競争力の高い技術を有する企業においても、持続的な経営、躍進的な成長の為にはDXが欠かせないものとなってきています。今回の取組により、430年以上の歴史と高い技術力、市場における優位性を持つ住友金属鉱山株式会社がデジタル技術を用いて生産性向上に取り組むことで、同社の目指す「世界の非鉄リーダー」実現の一助となる事を願います。」

■株式会社デジタルグロースアカデミア：

<https://www.dga.co.jp/>

本社：東京都港区 代表取締役：高橋 範光

■商標について

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件の問い合わせ先：
株式会社デジタルグロースアカデミア 広報担当
メールアドレス corporate@dga.co.jp